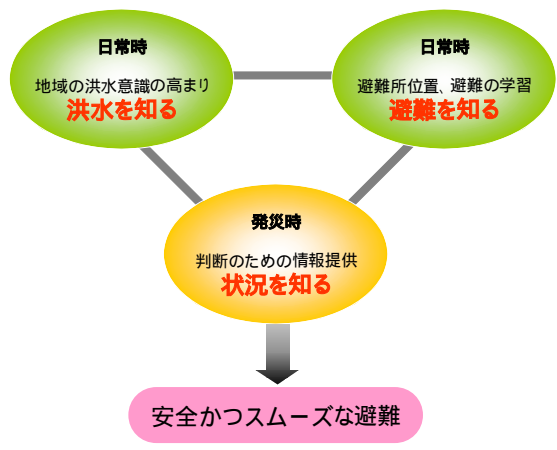


「まるごとまちごとハザードマップ」とは

【目的】

ハザードマップに記載されている「浸水深」「浸水実績」「避難所」などの情報を、街の中に標識として設置することで、町まるごとハザードマップの機能を持たせ、1. 防災意識の啓発、避難所の認知度の向上を図り、2. 災害時に安全かつスムーズな避難行動に繋げることから、被害を最小限にとどめる。



まるごとまちごとハザードマップの基本的な考え方

【標識と設置例】

情報	標識と意味	設置イメージと設置例
洪水	 <p>当該地域が洪水の影響を受ける可能性があることを示す。</p>	  <p>宮崎県下小松地区</p>
避難所(建物)	 <p>災害時の避難先となる安全な建物を示す。</p>	  <p>兵庫県豊岡市</p>
堤防	 <p>当該地域が堤防によって洪水から守られており、河川氾濫時には、浸水する可能性があることを示す。</p>	   <p>(まるごとまちごとハザードマップ実施の手引き)より実施イメージ</p>

出典 国土交通省 宮崎河川国道事務所 平成 19 年 4 月 18 日記者発表 「浸水情報看板の設置について」
 国土交通省 豊岡河川国道事務所 平成 19 年 3 月 9 日記者発表 「円山川下流部で「まるまち標識」を設置します」